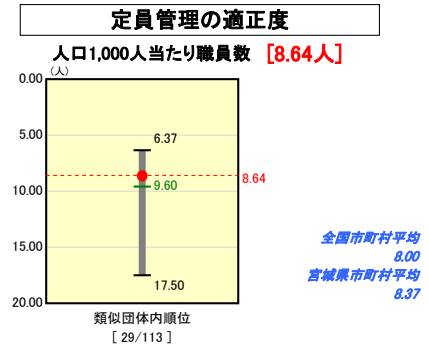
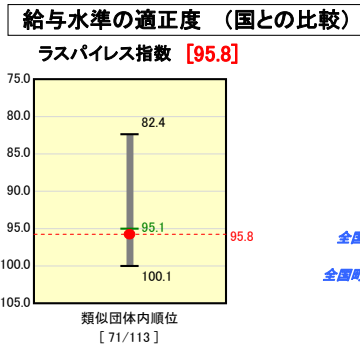
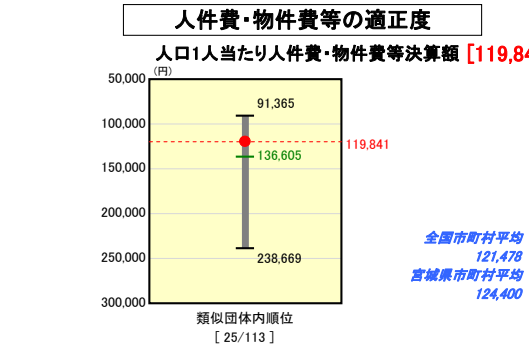
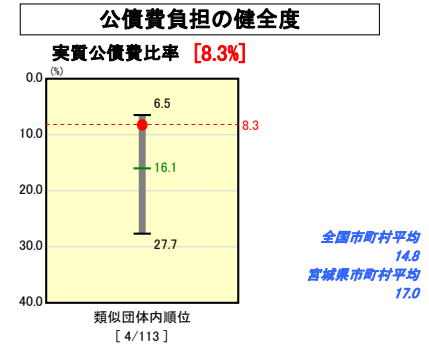
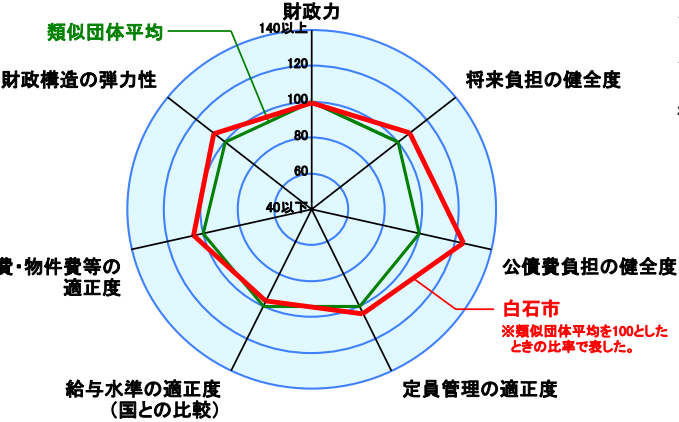
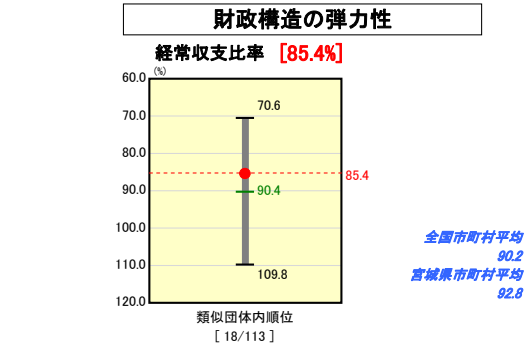
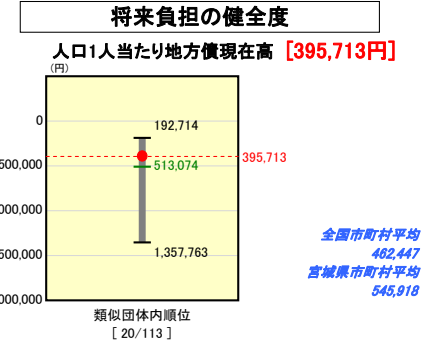
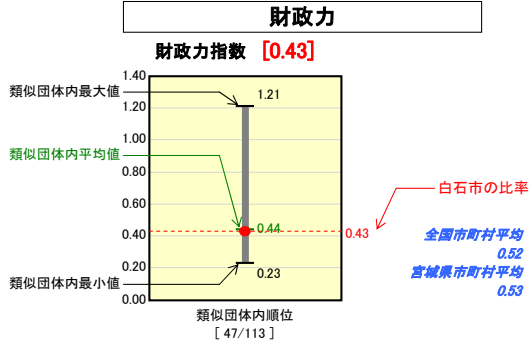


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 白石市

人口	39,685	人(H18.3.31現在)
面積	286.47	km ²
歳入総額	14,825,432	千円
歳出総額	14,292,142	千円
実質収支	368,575	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
 - 人口減少や25%を超える高齢化率(平成17年度末25.1%)に加えて、依然不透明な景気低迷等の影響による減収などから類似団体平均を若干下回っている。定員適正化計画(平成22年までに職員数の約5%の削減)や税率の向上などの集中改革プランに沿って、行政の効率化に努めるとともに、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率**
 - 平成7年から高利率の地方債については繰上償還を実施してきたことなどにより類似団体平均を下回っているが、近年、扶助費の増加などにより比率は悪化してきている(対前年度比3.2%上昇)。管理職手当の見直し、旅費の見直しなど行政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。
- 人口1人当たりの人件費・物件費**
 - 類似団体平均を下回っている。これは、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが要因と考えられる。人件費、物件費については常に縮減を目指しているが、今後一部事務組合への負担金も含めた経費について、抑制に努めていく必要がある。
- ラスパイレクス指数**
 - 全国平均を1.6ポイント下回り、類似団体平均とは0.7ポイント差があることから、ほぼ適正な水準であると考えられるが、今後も引き続き各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。
- 人口1人当たりの地方債残高**
 - 高利率の地方債などについては繰上償還を実施してきたことにより、平成17年度から類似団体平均を下回った。今後も新規の地方債発行には財政状況を十分に考慮し、類似団体平均を上回らないよう努める。
- 実質公債費比率**
 - 白石市総合計画のもと、適正な事業実施により、類似団体平均を大きく下回る8.3%となっている。しかし、今後増加の兆しが見られるため、緊急度、住民ニーズを的確に把握した財政運営に努める。
- 人口1,000人当たりの職員数**
 - これまで適正化計画を着実に実行してきたため、類似団体平均を下回っている。平成22年4月1日における市全体の総定員については、平成17年4月1日現在の総定員に対して4.6%を目標として職員削減に努める。